武　一　中

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/
ホームページがリニューアルしました。

平成３０年　１月　９日
武蔵野市立第一中学校
学校だより２９－８号

犬馬は難く、鬼魅は易し

校長　　若槻　善隆

平成３０年が始まりました。新年を迎え、それぞれに大きな夢や希望を胸に、順調なスタートを切れたことと思います。

さて、今年は戌（犬）年です。犬は忠誠心が強く、またかわいらしい姿から、昔から人に親しまれ愛されてきました。そのため、「南総里見八犬伝」「名犬ラッシー」「のらくろ」「スヌーピー」など、犬をメインにした小説や映画・アニメなどたくさんあります。江戸時代の第五代目将軍の徳川綱吉の生類憐みの令や渋谷の忠犬ハチ公の話も有名です。犬は、人間にとってとても身近な存在でもあります。

その「犬」に関して「犬馬（けんば）は難く、鬼魅（きみ）は易し」ということわざがあります。絵を描くときに、犬や馬のようにすべての人が常に見慣れているものは、描きやすいように思えるが、実はその姿を皆がよく知っているだけに、本当は難しい。これに対して、鬼や魅（妖怪）のように、人が見たことがないものは描くのに難しいように見えて、実は簡単に描くことができるということです。これは中国の「韓非子」という書物の中に出てくる斉王と画家との問答から生まれたことわざですが、とても意味の深いことわざでもあります。犬や馬はどんなに上手に描けても平凡にしか映らないけれど、その平凡の中には深い意味があるというのです。

私たちの日常に置き換えてみると、普段とは違う目立つようなことをすると、人目につきやすく、あるいは称賛される場合もありますが、それは意外に簡単な場合が多々あります。たとえば、一年に一回の大きな行事や、人がたくさん集まるような行事は大変なように思えますが（準備や片付けは少々大変です）、終わった後の達成感があるので、それほどのことではなかったように感じることがあります。逆に当たり前のことを人目に触れないところで毎日続けることは、実のところすごく難しいものです。たとえば、毎日の勉強や掃除、整理整頓、早寝早起きなどあまり目立たない一見平凡に見えることは、周りの人は誰も見ていないけれど、実は継続してやり遂げることは難しいものです。私も、「凡事徹底」「継続は力なり」と言いながら、なかなかやり遂げることができないことがたくさんあります。そして、当たり前のことを毎日続けることの難しさを日々痛感しています。

先日、正月恒例の大学箱根駅伝が行われましたが、その箱根駅伝を扱った記事の中にこの「犬馬は難く、鬼魅は易し」につながる一コマがありました。それは４区を走った駒澤大学の主将の高本真樹選手のことです。彼は、今年は主将でありながら、大学三大駅伝で走ることができたのは今回の箱根駅伝だけでした。でも、主将として、当たり前のことを毎日続け、駒澤大学の選手たちの先頭に立って頑張ってきたそうです。その高本選手が、５区の小田原中継所でゴールし、タスキを渡した後、係員が制止したにもかかわらず、コースに向かって行き、監督車に深々と一礼したのだそうです。おそらく「４年間、ありがとうございました」という気持ちを込めて。すると、駒澤大学の大八木監督が窓から手を振って、その一礼に応えたのだそうです。私は、この記事と高本選手が監督者に向かって礼をしている写真をあるホームページで見たのですが、とても胸が熱くなりました。当たり前のことだけど、そのことを普通にできることの大切さを教えてもらいました。

私も戌（犬）年のこの一年間、「犬馬は難く、鬼魅は易し」を肝に銘じて過ごしていこうと思っています。皆さんも「凡事徹底」を心掛け、素晴らしい一年にしましょう。

１年生ポスターセッション　テーマは「環境」

１２月１９日（火）、１年生にとって中学生になって初めてのポスターセッションを行いました。セカンドスクールで「環境」をテーマに様々な体験学習をして、大きな成果を収めてきた１年生ですが、その経験を活かし、「環境」についてさらに興味関心をもったことを書籍やインターネットで調べ、地球温暖化・自然破壊・エネルギー問題・食料問題など多岐にわたる課題についてプレゼンテーションを行いました。上級生から自分たちの経験を生かした質問や意見が出され、学校全体で「環境」について学ぶことができました。３年生からは来年度に向けてアドバイスもありました。上級生に学び、下級生が育つという一中の良き伝統が継承されているポスターセッションでした。

オリンピアンによる講演会

１２月２１日「東京オリンピック・パラリンピック推進教育～夢・未来プロジェクト」の一環としてロサンゼルス五輪・ソウル五輪で活躍された秋山エリカさんに「うんどうオンチのオリンピック」と題してご講演をいただきました。秋山さんからは、新体操で使う手具のロープ・フープ・ボール・リボンを使って演技方法や審査基準など新体操について説明をしていただきました。そのあと、2020 東京オリンピックを目指している東京女子体育大学の藤岡里沙乃さんのリボンの演技を見せていただきました。その演技の優雅さや美しさを見た生徒たちは、思わず立ち上がって歓声を上げていました。

秋山さんのご講演では、うんどうオンチだった幼少の頃のお話や小学校の時に骨折しそのリハビリで始めたクラシックバレエがオリンピック出場を決める時に新体操で役に立ったことなど、たくさんのご経験を話していただきました。また、**「失敗してもあきらめないとその失敗が種となって、いつかいいことに変わる」「劣等感をもたず、人と比べず、自分にしかできないことを探すことが大切だ」「2020 年に向けていろいろな国の文化を学び、日本人が当たり前と思っていることが必ずしも当たり前ではないことに気付いてほしい」**などたくさんのことを教えていただきました。
秋山エリカさん、藤岡里沙乃さん、ありがとうございました。

１月行事予定

日	曜日	行　　事	日	曜日	行　　事
1	月	元日	18	木	各種委員会　　漢字検定
7	日	冬季休業日（終）	19	金	英語検定
8	月	成人の日	20	土	学校公開Ⅴ 開かれた学校づくり協議会
9	火	始業式	22	月	生徒会朝礼 私立高校推薦入試
10	水	Ⅲ期時間割（始）	23	火	都立高校推薦出願
11	木	安全指導	25	木	私立高校一般出願 避難訓練
15	月	私立高校推薦出願	26	金	都立高校推薦入試（～27）
16	火	全校委員会	29	月	全校朝礼
17	水	武教研のため午前授業	31	水	2 年生連合音楽会校内発表会